

# 町方報

発行所  
伊方町  
愛媛県西条郡伊方町湊通  
千736-03 伊方局38-0211

編集  
務務課  
印刷所  
豊印社  
八幡浜市松柏 22-0144

## 今月の紙面

- 二面……84年町の10大ニュース  
健康の窓、周りを清潔に。
- 三面……民話と伝説「源平由来の地」⑦  
伊方町誌を改訂
- 四面……国籍法及び戸籍法改正  
歳時記「忘年会」

# 急増する町内の交通事故

## 新国道では一度に7人重軽傷も

町内の今年の交通事故が急増。発生件数で二・四倍、負傷者は昨年同様の六倍にもなっています。負傷者のほとんどは新国道での事故。一度に五人、七人が重軽傷を負う事故もありました。ちよとした気のゆるみで一生をたなはたしては大変です。スピードをにぎつたらスピードは控え目に。



写真上から、正面衝突で5人(川永田)、標識に激突し5人(河内)、正面衝突で7人(川永田トンネル内)。いずれも新国道で発生した人身事故

八幡浜警察署(伊方・町見駐在所)がまとめた今年十一月末までの交通事故状況は、発生七十件、負傷者が三十四人となっています。昨年一年間の五十二件、六人に比べ発生件数が二・四倍、負傷者数は約六倍に急増するという最悪の事態になりました。月別の主な負傷者数は一月五人、八月八人、十一月八人などとなっています。いずれも一度に五人以上が重軽傷を負う事故が発生しているためです。このうち二回は正面衝突

突、一回は道路端の標識にぶつかったものです。時間帯は夕方と深夜、一週間のうちでは金曜日と土曜日に増える傾向があります。人身事故のほとんどは新国道で発生しており、「まさか!こんなところで」という場所がほとんど。その原因も「スピードの出し過ぎ」と「わき見運転」です。町では九町に看板を、危険カ所にはカーブミラーを増設、交通安全協会でも川永田トンネル東側に赤色回転灯などを設置して注意を呼びかけています。一人一人が安全運転を心がければ事故は必ず減ります。悲惨な交通事故を起さないようにしましょう。

突、一回は道路端の標識にぶつかったものです。時間帯は夕方と深夜、一週間のうちでは金曜日と土曜日に増える傾向があります。人身事故のほとんどは新国道で発生しており、「まさか!こんなところで」という場所がほとんど。その原因も「スピードの出し過ぎ」と「わき見運転」です。町では九町に看板を、危険カ所にはカーブミラーを増設、交通安全協会でも川永田トンネル東側に赤色回転灯などを設置して注意を呼びかけています。一人一人が安全運転を心がければ事故は必ず減ります。悲惨な交通事故を起さないようにしましょう。

## 町内の交通事故

12月1日現在	発生件数	72件
(11月………)		5件
	負傷者数	34人
(11月………)		8人
昨年	発生	52件
	負傷	6人

## 三回あった

### 五人以上の負傷

今年発生した町内の人身事故のうち、一度に五人以上が負傷した事故が三件ありました。

### ▽川永田で五人重軽傷

一月十七日、新国道川永田トンネルから西約六百メートルの地点で発生。対向して来た普通乗用者とライトバンが正面衝突し、五人が重軽傷を負いました。事故原因は、普通乗用車がスピードの出し過ぎでカーブを曲がりきれず、中央線を超えたため。

### ▽河内で五人重軽傷

八月二日、河内公民館の東側で仕事帰りのライトバンが道路端の標識に激突。五人が重軽傷を負いました。事故原因はスピードの出しすぎと、わき見運転。

### ▽川永田トンネル内で七人重軽傷

十一月十一日、新国道川永田トンネル内で乗用車どうしが正面衝突し、七人が重軽傷を負いました。事故原因は、東進車のいねむり運転による中央線はみ出し。

## 高門氏に黄綬褒章

### 町内では三人目



秋の褒章で、高門嘉夫留氏(県議・川永田)が黄綬褒章を受章しました。黄綬褒章は産業功労者に与えられるもので、高門氏は愛媛県青果農協協長、日本園芸農協協会副会長など県内外で活躍です。黄綬褒章は、高崎市右衛門氏(大浜)、田中善吉氏(仁田之浜)に次いで町内では三人目。

## 年末年始の役場業務

十二月二十九日から一月三日までの六日間は、年末年始につき役場業務は休みです。ただし、ゴミ収集業務は十二月三十日まで、戸籍の一部受けなどは次の要領で行いますので申し出て下さい。

### 急病のとき

急病のときは、まず、係りの医師にご相談下さい。町営の九町及び加周診療所は十二月二十八日の午後から一月三日まで休診。四日は午前中の診療、五日からは平常どおりです。

### 戸籍の届出

住民票や印鑑証明書の交付などの戸籍業務は休みですが、死亡届や出生届などは届出直者が受け付けます。役場または町見支所へ申し出て下さい。特に死亡届は、火葬と霊柩利用の関係がありますので早めに届出て下さい。

### ゴミの収集

年末のゴミ収集は十二月三十日(日)まで、三十一日から一月三日までは休みです。出さないようにご協力ください。

### 三回の収集

年末のゴミ収集は十二月三十日(日)まで、三十一日から一月三日までは休みです。出さないようにご協力ください。



▲①八西地域が国のニューメディア構想でモデル地域に

今年も早や十二月。残すところあとわずかになってしまいました。ふり返つてみますといろんなことがありまして。

異常寒波で始まり、秋の干害などの影響で柑橘生産量が減少。水道幹線布設工事などの南子用水関連事業者工、待望の救急業務、霊柩車の運行開始。さらには国のニューメディア構想で八西地域がモデル地域に指定を受け、全国から注目されています。

公共施設では、伊方小体育館、川永田コミュニティセンター、加周保育所、向小集落改良住宅、町見農協柑橋集荷場が完成。湊浦公営住宅、須賀集会所、水ヶ浦小拡張整備にも着手しました。

また、伊方発電所三号機の増設問題、新国道の全線開通に明るい見通しがつくなど、「豊かて住みよい町づくり」を目指す本町として、大切な基礎づくりの年であったように思います。

こうした昭和五十九年を、広報紙や町の事業などから「10大ニュース」と題して順位をつけてみました。

# 町の10大ニュース

今年1月からの町の主な出来事の中から、重要と思われる順に1位から10位まで番号を付けてみました。広報関係者35人の調査結果は次のとおりです。

①八西地域が国のニューメディア構想でモデル地域に  
本町を含む八西地域が、10月15日通産省のニューメディア・コミュニティ構想のモデル地域に指定を受けました。

②広域消防業務スタート  
4月1日から広域常備消防業務がスタート。救急業務も加わり、待望の救急車が利用できるようになりました。

③温州みかん不作、出荷量は昨年の約7割  
伊方町農協がまとめた今年の町内の温州みかん予想出荷量は合計9,940トン。昨年(14,400トン)より3割以上も少なく、ここ5年間の最低となりそうです。

④町見・有寿来漁協の漁業交渉まとまる  
伊方発電所3号機増設に伴う町見・有寿来漁協の漁業交渉がまとまりました。

⑤町内全域の水道幹線布設工事始まる  
南子用水事業受け入れに伴う町内全域の水道幹線布設工事が、9月1日から2ヵ年計画で始まりました。

⑥町内の交通事故急増。負傷者数が昨年の6倍に  
今年1月から11月末までに発生した町内の交通事故件数は72件(昨年同期52件)。負傷者34人(同6人)となっています。

⑦霊柩車業務始まる  
9月1日から霊柩車の運行が始まりました。運行は八幡浜市にあるサンリード社との委託契約。ライトバン型は無料ですが、宮型車は料金の一部(6,000円)負担が必要です。

⑧南子用水事業北幹線水路のうち保内—伊方間の隧道貫通  
野村ダムから取水して、本町など2市7町に分水する南子用水事業。このうち、保内—伊方間の隧道が11月27日に貫通し、本町から西の幹線工事で初の貫通となりました。

⑨八西地区の電話の市外局番が統一  
八西地区の電話の市外局番が11月28日から統一。八西地区内どうしの通話は市外局番なしで出来るようになりました。

⑩議長・教育長が交替  
9月21日の臨時町議会で第17代議長に井上鶴敏氏(中浦=65歳)が、10月8日付で教育長に阿部嘉明氏(川永田=53歳)が就任しました。

# ディア指定・救急業務の開始



▲④町見・有寿来漁協の漁業交渉まとまる



▲⑤町内全域の水道幹線布設工事始まる



▼⑥町内の交通事故急増。負傷者数が昨年の6倍に

▼⑧南子用水事業・保内—伊方間の隧道貫通



▼⑦霊柩車業務始まる

**周りを清潔に**

私共が健やかに生きるためには自分で健康を守ることを考えなくてはなりません。最近若い人に急に増えてきた成人病の予防も自分で栄養・運動・休養のバランスを整えないと目的を果たすことが困難。また私共の環境には、それ以外の病因がとりまいていり、それを知って対策を講ずることが必要です。

例え身近な問題として、農業公害をはじめ色々の公害による疾病、食中毒・伝染病、そのほか数多くの健康障害に対しても注意しなくてはならない。

そのためには身の周りはもちろん、生活環境をより清潔に、より美しく健康的なものにしていくことが必要です。

まず身の周り、次に家庭の中をきれいに清潔にしたい。適正な照明、通風換気についても気を付けたい。食生活と最も関係の深い台所の清潔保持は恐ろしい食中毒や経口伝染病を防ぐためにも大切である。ハエやゴキブリの駆除もゆるがせにできない。炊事をする人の健康も大切で、とりわけ手や指先をよく洗っておくこと、爪(つめ)を短くしておくこと、万一キズや

野村と野良猫の発生も、それぞれの家庭での注意が行き届けば未然に防ぐことができる。野生化した動物から受ける危害やそのほかの健康障害も考えておきたいものである。

セイタカアワダチ草の駆除も年二回、四月(芽生え時)と十月(開花時)に果下一斉の駆除活動が行われている。この花の花粉がセキやゼンソクを誘発するので有毒草と指定され、本町でも七年前から撲滅活動を続けている。

他市町村に比べ当町はその活動が活発であるが、種や根茎による繁殖力がたくましく、根気強く続ける必要がある。これからも諸団体が協力して撲滅に努めてほしい。

このようにして私共は互いの身の周りから、更にそれぞれの生活環境を少しでも美しく清潔にして、健康的な環境づくりに努めることがお互いの健康を増進保持するために、大きな役割を担っていることを理解し、これを実行に移していきたい。

小川医院：小川文一郎院長

**健康の窓**

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

外の生活環境の保持に留意することは健康保持に重要なことである。

こうしてお互いの身の周り、家庭の内外的のみならず、更に進んでゴミ・廃棄物・汚物などの処理や始末も決まりを守り、収集場所をきれいにすることも健康的な環境づくりに大いに役立つのである。一人の不始末のために環境がこわされがちになるので、一人一人の自覚と責任を大切にしたい。





# 国際結婚の増加で

## 戸籍及び国籍法が一部改正

「国籍法」及び「戸籍法」が、昭和六十年一月一日から一部改正されることになりました。

今回の改正は、近年における国際交流の活発化に伴う涉外婚姻の増加などに伴って行われるものです。主な改正点は次のとおりです。

### 父母両系主義の採用

これまでは原則として父系血統主義を採っているため、生まれたときに父が日本人でなければその子は日本人ではありませんでした。

### 国籍の留保制度の適用範囲拡大

国籍の留保制度とは、例えばアメリカ合衆国やブラジルなどのように、自国内で生まれた人は国籍を有している(生地主義国)で生まれた

### このほか、これまでは帰化申請者本人に独立して生活するのに十分な資産、技能を有していることが必要とされて

いた。改正後は、原則として世帯単位で生活能力が判断されることになりました。

### 外国人と結婚しても、結婚した人の氏が変わらないのは

これまでと同じですが、改正後は、その人が希望するときは結婚の日から六月以内で限り、市町村長に届出をすれば外国人配偶者と同じ氏を名乗ることができるようになります。

### 吉川さん(川)

川水田の吉川時太郎さんが法務大臣表彰を受けました。吉川さんは、昭和三十六年から二十年以上にわたり保護司として活躍。先ごろ東京都で行われた更生保護制度施行三十五周年記念大会の席上、永年更生保護活動功労者として表彰されたもので

### 法務大臣表彰

川水田の吉川時太郎さんが法務大臣表彰を受けました。吉川さんは、昭和三十六年から二十年以上にわたり保護司として活躍。先ごろ東京都で行われた更生保護制度施行三十五周年記念大会の席上、永年更生保護活動功労者として表彰されたもので

### 伊方小が 老人クに寄付

伊方小学校の児童会(西川悦生会長)児童三百十九人)から、町老人クラブ連合会に五万円の寄付がありました。

### 伊方小が 老人クに寄付

伊方小学校の児童会(西川悦生会長)児童三百十九人)から、町老人クラブ連合会に五万円の寄付がありました。

### こちら 編集室

今日は苦戦なく過ぎ、今年もあとわずか。最後の月になりました。それぞれの立場で感じ方も異なりますが、十二月も中旬を過ぎるとなんとなくあたたかいよう

### お誕生おめでとう

お誕生おめでとう。おめでとう。おめでとう。

### 歳時記

## 忘年会

「忘年」という言葉にはいろいろな意味があるようです。自分の老いを忘れて没頭するほどおもしろく思うこと、年齢の差を気にとめないこと、長幼を論じないこと、その年の苦勞を忘れること——などです。

もちろん忘年会はその年の苦勞を忘れるための催しですが、せつかくの会ですから、年齢を忘れ、長幼に関係なくたのしみたいものです。

最近では、泊まりかけの忘年会が流行しています。といっても、別にせいたくになつたのではなく、マイカーの普及によるものです。忘年会の後、酔っぱらい運転をして帰ることはできないので、それならいっそ温泉宿などに泊って忘年会をやり、あくる朝早くみんなそろって出勤しようというわけです。

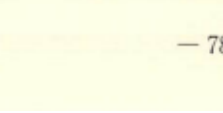
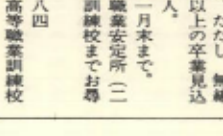
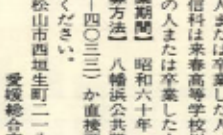
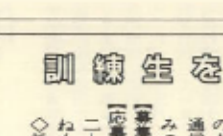
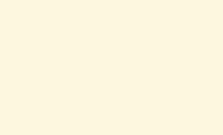
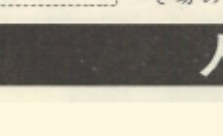
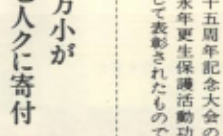
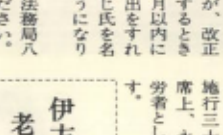
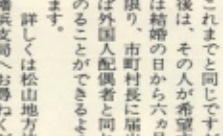
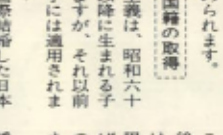
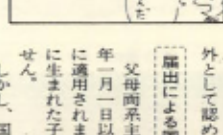
一方、マイカー通勤の少ない大都市でも、泊まりかけの忘年会が増えています。こちらは、二次会・三次会で酔ってしまつて遠いベッドタウンへタクシーで帰るよりは……ということなのでしょう。

その外、夜の観光バスを利用してショーを見たり、職場チームで草野球をしたりする忘年会も見受けられます。したたかに飲むだけの時代ではなくつつあるのでしょうか。

ところで、年末年始は忘年会に限らず飲食の機会が多くなります。

12月はお正月用の食品が大量に出回るシーズン。同時に食中毒など食品の事故

も増えることから、国では特に12月を「食品の年末一斉取締り月間」として、食品衛生監視員が食品関係業者わたしたちの食品の取り扱い・保存には十分に注意しましょう。



### 不法投棄 やめましょう

このところ町内のあらこちでゴミの不法投棄が見られます。不衛生であるとともに、関係地まさんに大変迷惑がかかります。また、不法投棄をした人は法律で罰せられます。

ゴミは農地還元するか、町の収集日に出すようお願いください。

昭和59年11月1日現在 人口 8,599人 (男4,149人(+8人) (+1人) 女4,450人(-7人)) 世帯数2,576戸(-1戸)

えんむすび

昭和59年10月1日

10月31日

氏名 本籍

### お誕生おめでとう

お誕生おめでとう。おめでとう。おめでとう。

昭和59年10月1日

10月31日

おくやみ

昭和59年10月1日

10月31日